

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成28年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
28-6	新設コンクリート構造物における表層品質検査手法の確立	広島大学 准教授 半井 健一郎	A
<p>&lt;研究の概要&gt;</p> <p>これまで直接的な検査が不可能とされてきた、コンクリート構造物の耐久性を支配する表層品質を、非破壊試験の組み合わせによって定量的かつ合理的に評価する新たな検査システムを構築し、道路ストックの長寿命化の推進に資する。</p> <p>&lt;中間評価&gt;</p> <p>期待した成果が得られており、実用的な成果が期待されることから、現行のとおり推進することが妥当と評価する。なお、本手法をどのような目的で誰がどのように活用するのか明確になるよう最終成果をまとめて頂きたい。</p> <p>&lt;参考意見&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 簡易法、詳細法、コア分析の3つの方法の精度比較をした上での利活用のトータルシステムが示されることを期待する。</li><li>2. 表層の物質透過抵抗性を試験することを実務に実装する際には、このような試験を行う目的についても理解して活用されるように整理されることを期待する。</li><li>3. 散水試験についてキャリブレーション法についてもとりまとめていただきたくとともに、散水試験の活用範囲が明確にされることを期待する。</li></ol>			

※本評価結果は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第34回新道路技術会議において審議したものである。